

2024年7月19日

東急不動産ホールディングス株式会社

ESG 投資指数「FTSE4Good Index Series」構成銘柄に 通算 15 年連続で選定

～全業種で国内 6 位の「スコア 4.7」を取得～

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典、以下「当社」）は、このたび、世界的な ESG 投資指数である「FTSE4Good Index Series」（フィッチャー・フォー・グッド・インデックス・シリーズ）の構成銘柄に、2010 年以降通算 15 年連続（※1）で選定されましたことをお知らせいたします。

当社スコア 4.7 は今回選定された日本企業において、最高スコア 4.9（2 社）及び 4.8（3 社）に次ぐスコア（当社含めて 7 社）で、国内の不動産業トップとなります。この結果は、これまで注力してきた ESG の取り組みや、環境経営・DX という全社方針のもとでの戦略や事業活動、リーダーシップやステークホルダーエンゲージメントが評価されたものと認識しております。

（※1）東急不動産株式会社として 2010 年～2013 年まで 4 年連続選定、東急不動産ホールディングス株式会社設立後、2014 年～2024 年で 11 年連続選定。



■FTSE Russell とは

ロンドン証券取引所グループの完全子会社である FTSE Russell は、1995 年に設立され、株式、債券など多くのグローバルなインデックスの他、ESG や気候変動データを用いた各種 ESG インデックスを算出、機関投資家向けに様々な情報、分析を提供しています。「FTSE4Good Index Series」は、FTSE Russell が開発した指標で、環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の 3 つの側面から世界各国の大手企業の持続可能性を評価し、総合的に優れた企業を選定し、構成されます。

また、この度当社は、年金積立管理運用独立行政法人（GPIF）が ESG 投資におけるベンチマークとして 2017 年より採用している、「FTSE Blossom Japan Index」にも 7 年連続、ならびに 2022 年 3 月から新たに採用している、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」にも 3 年連続で選定されました。

今回の選定にあたっては ESG にかかわる経営課題への当社グループの取り組みが、将来にわたり持続的成長が期待できる企業としての評価をいただいた結果ととらえております。当社グループでは長期ビジョン「GROUP VISION 2030」においても「事業活動を通じた社会課題の解決」を掲げており、引き続き持続的成長と長期的企業価値の向上に取り組んでまいります。

■ ESG 指標の選定状況（2024 年）

なお、上記の他、ESG 総合指数では、MSCI ESG レーティングにおいて「AA」評価を 2 年連続で獲得いたしました。また、ジェンダー・ダイバーシティ特化指数である、Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index に選定されています。その他、下表をご参考ください。

■ 当社が選定されている代表的な ESG 投資指数

FTSE4Good Index Series	FTSE Blossom Japan Index	FTSE Blossom Japan Section Relative Index	S & P / J P X カーボン・エフィシエント指数	GRESB
				
ロンドン証券取引所のグループ企業である FTSE Russell 社により開発された株式指標。2010 年以降、2024 年まで、過去 15 年連続(※1)で選定されています。	2017 年より創設された、ESG について優れた対応を行っている日本企業の指標。8 年連続選定されています。年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF、以下同様）が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	2022 年より新たに創設された、ESG についてセクター毎に ESG Rating が高い日本企業を選定した指標。3 年連続選定されています。GPIF が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	ESG のうち環境に善目した株価指数で、TOPIX（東証株価指数）の構成銘柄を対象に、環境情報の開示状況と炭素効率性（売上高あたりの炭素排出量）を考慮して、指数への組み入れ比率が決定されています。GPIF が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	GRESB リアルエステイト評価「4 スター」および「グリーンスター」を取得。GRESB 開示評価は 7 年連続最上位「A」を取得し、2023 年度は 2 年連続で 100 点満点のスコアを取得しました。
MSCI ESG Leaders	MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数	MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)	CDP	CDP サプライヤーエンゲージメントリーダー
				
グローバルの MSCI 指数の中型、大型株を対象に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の評価が相対的に高い銘柄を選別して構成する指数です。	MSCI 社が開発した ESG 総合型指数で、各業種の中から ESG 格付けが相対的に高い企業を選別して構成されています。GPIF が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	MSCI 社が開発した ESG テーマ型指数で、女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータに基づき、各業種から性別多様性スコアの高い企業を選別して構成されています。GPIF が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	国際環境非営利団体 CDP が実施する気候変動に関する企業調査で、気候変動対策において最高評価の A リストに 2021 年より 3 年連続で選定されました。	国際環境非営利団体 CDP が実施する、温室効果ガス Scope 3 (上流) 排出量の把握と削減目標設定、およびサプライヤーとのエンゲージメントに関する企業の取り組みを評価する調査で、最高評価の A (リーダーシップ) に 2020 年より 4 年連続で選定されました。

当社グループのESGへの取り組みについては、当社コーポレートホームページのサステナビリティサイトをご覧ください。

<https://tokyu-fudosan-hd-csr.disclosure.site/ja>

■長期ビジョン「GROUP VISION 2030」でめざす、「環境経営」と「DX」の取り組み

当社は2021年に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。多様なグリーンの中で2030年にありたい姿を実現していく私たちの姿勢を表現する「WE ARE GREEN」をスローガンに、「環境経営」「DX」を全社方針として取り組んでいます。

当社グループの中核企業である東急不動産では、「環境先進企業」をめざして様々な取り組みを積極的に進めており、自社で大規模に展開する再生可能エネルギー事業を活かし、2022年12月には自社の事業所及び保有施設（※1）の使用電力の100%再生可能エネルギーへの切り替えを完了、2024年4月には、RE100達成（※2）がRE100事務局であるCDPより認定されました。RE100事務局によると、日本におけるRE100達成した事業会社（※3）としては初の認定となります。

今後も、自社における再エネ電力利用の継続と共に、コーポレートPPA等の再エネ電力供給により、お客様へ環境価値を提供し、事業を通じた脱炭素社会の実現を目指してまいります。

（※1）一部の共同事業案件などを除く

（※2）RE100が認めるグリーンガスが国内市場に存在しないため、コジェネレーション自家発電による電力を除きます。

なお、東京ガス様が供給するカーボンニュートラルガスを採用することで、脱炭素を実施しております。

（※3）金融機関を除く

東急不動産ホールディングス「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

東急不動産ホールディングス「中期経営計画 2025」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/mgtpolicy/mid-term-plan/>